

チャペル週報

No.24

2018.11.26 ~ 11.30

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

(詩編 46編 2節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月26日(月) 神 池田 裕子(関西学院大学博物館職員)
経 人間を考える⑤ 舟木 讓(宗教主事)
人 李 善恵(人間福祉学部准教授)
理 音楽チャペル KSCハンドベル&アンサンブル
聖和 聖書物語「ゴルゴタの丘で」

11月27日(火) 神 音楽チャペル 聖歌隊
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 宗教総部
法 大宮 有博(宗教主事)
経 人間を考える⑥ 秋吉 史夫(経済学部准教授)
商 Chapel in English Christian Triebel(神学部助教)
国 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
理 林 美恩(日本基督教団 神戸聖愛教会宣教師)
総 音楽チャペル バロックアンサンブル
教 夏目 裕(吉岡記念館事務室次長)

11月28日(水) 院 Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)
神 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 世界の賛美歌チャペル-詩編を歌ってみよう
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 人間を考える⑦ 山鹿 久木(経済学部教授)
商 山本 俊正(宗教主事)
人 米谷 友里子(人間福祉学部教務補佐)
理 前川 裕(宗教主事)
総 宗教総部
教 献血実行委員会

11月29日(木) 神 逝去者記念礼拝 水野 隆一(神学部教授)
文 細川 正義(関西学院大学名誉教授)
社 「いのち」について考える⑥ 加納 和寛(神学部准教授)
法 井上 智(神学部助教)
商 夏目 裕(吉岡記念館事務室次長)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
総 南 修斗(総合政策学部3年)
聖和 小栗 献(日本基督教団神戸聖愛教会牧師)

11月30日(金) 神 後藤 浩子(日本基督教団 芦屋山手教会教会員)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 山内 慎平(神学研究科M2)
理 献血実行委員会

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
11月30日(金) アドベント(12/2)を迎えるにあたって 土井 健司(神学部教授)

海と畏れ

齊木 久代

私たちはそれぞれに、幼き頃の思い出を持っています。初めて体験した自然に関わる驚きと感動、時には、恐怖は、自らの世界観を変え、神を感じるものであったかもしれません。

台風21号が日本に近づきつつある今年9月、私は明石海峡を望む舞子のホテルに仕事で訪れていました。明石海峡大橋と海を眺めながら、潮流の速い難所にこの橋を架けた技術に改めて感服しつつ、台風の進路予想、衛星画像をスマホで確認していると50年以上前の海の情景が蘇りました。

そのころ、まだ幼かった私は、大阪湾沿いの海辺に家族と暮らしていました。ある夏、大きな台風が近づきつつある中、母は、台風が室戸岬を通ると大阪が危ないと心配していました。鉄筋コンクリート造の戸建2階の子ども部屋から、私は初めて体験する非常に強い台風の風雨を怖いというより興味一杯で眺めていました。部屋からは、堤防越しに海も見えました。その時、眼にした海の光景は驚きでした。眼前の海面が、見る見るうちにどんどん高くなっていきました。大きな波がくるのではなく、海全体が上がってくるのです。そして、海面が堤防を越えて来たのです。普段、私たちの遊び場になっていた海の姿の激変に息を飲みました。幸い1階が床上を少し超える位の浸水で済みましたが、この第二室戸台風の海の情景は忘れ難いものとなりました。

この海辺は、程なく埋め立てられて工場地帯へと変貌し、その沖合には関西国際空港が出来ました。そして今年、室戸岬付近を通過した台風21号は関空、湾岸等に大きな被害を残しました。30、40年程前には、各観測点の情報をラジオで聞きながら天気図に記入していた記憶があります。それが、衛星画像を廉価な端末で各人が確認し、精度の高い進路予想情報を入手できる時代になりました。

自然がもたらす予想のつかない脅威は、私たちに大きな恐怖を与え、畏敬の念を抱かせてきました。現代の私たちは、ヒトが本来有する能力をはるかに超える膨大な情報を保存し、処理、活用するスキルを手に入れ、さらに、それを発展させつつあります。私たちは自然に対して常に敬意に向き合い、畏れを抱きながら、新しいスキルを活かす術を学びたいものです。

(聖和短期大学教授)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50～18:20 1405教室)

11月主題:「真の共生社会を目指して」

11月29日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

12月主題:「アドベントを迎えて」

12月6日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

13日(木) 大宮有博(法学部宗教主事)

20日(木) Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

●クリスマスツリー点灯式-アドベントを迎えて-

アドベント(待降節)に入った翌日、関西学院はクリスマスツリーに点灯し、クリスマス準備を始めます。どなたでもご自由にご参加ください。(雨天決行)

と き:2018年12月3日(月)

ところ:西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生 18:30～19:00(雨天時は中央講堂)

神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ前 18:30～18:50

西宮聖和キャンパス 2号館前 18:30～19:00

●第215回ランバス演奏会

歌とリュートによる「古き良き英国の愛の歌を集めて」

演 目:愛は甦る、真の愛、音楽が愛の糧なら、泣かせてください、ほか

演奏者:平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リュート

と き:12月4日(火)17:00開演(18:10終演予定)

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しており今年で20年目を迎えます。

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子(京都カトリック河原町教会オルガニスト)

12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●関西学院会館の日曜礼拝

授業・試験期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

12月9日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き:12月21日(金)17:30開場 18:30開始 20:50終了予定

ところ:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

参加費(入場料):2000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

* 関西学院大学生協(TEL 0798-53-5150)

* チケットぴあ(TEL 0570-02-9999) Pコード 130-125

* ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:サークルK、サンクス、セブン・イレブン

* ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333)

お問合せ:関西学院宗教センター(TEL 0798-54-6018)

主催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会